

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



台風の二週間後に開催された富士山麓での「ミスバイク1万人大会」。



70台ものバイクが日本中から集まり、食べて笑って踊って英気を養った。



いち早くボラに赴いた上田市の土屋さん、千曲市の犬竹さん、安曇野市の太田さん。



災害ボラ25日を超えた須坂市の熊川さん。左はチーム長野の8時間耐久ライダーの櫻山さん。



趣味はカフェのお客様のバイクに跨ること♪

三好礼子
エッセイスト・元国際ライター
～ http://www.fairytale.jp/ ～

★三好礼子の★
ナチュラル・ロード



軽トラの向こうが産廃施設。災害ゴミ処理とも重なり、手が合わさった。



今年68回ツリーリングしてインスタで絶景を紹介。バイクも写真もプロ級の前山さん。私のテニスの師匠さん♪



事情を考慮し、1月開催の香港100キロドランをキャンセル。当分は近場で走ります！

代の頃の私は、中目黒のビルの屋上の10畳一間の現場用プレハブに住んでいました。水道とトイレは屋上のを使い、暖房はコタツと石油ストーブ。湯沸かし器もお風呂もなかったけれど、バイクと愛猫と絶景に囲まれ、いつでも旅立てる身軽さは心地よく、最高に満ち足りていました。

なになんてこんなが増えてしまったのか。とにかく災害に遭ったことを想定し、書類、服、食器、OA機器、押入れの中、工具、家具と、全ての家財を点検しました。2年使わなかったものは、捨てるかあげるやってみよう、と軽トラ数杯分は出てきました。片付け命です。生まれてきたのに、いろいろな暮らしがなくなっていくの、ささかショック。

こと、それを細心の注意を払いながら処理している人の笑顔。そのギャップに完全に打ちのめされ、帰りはしほし河原で呆然。ゴミは機械が削減させるのではなく、あの臭気や埃の中でサイクルに回す人がおり、その人たちは自分の家族なんだという意識がないと、ゴミは減らないよなあと痛感。若い人もペレランもほとんどに優しかった。でも私は、そこでマスクを取る勇気も長靴で歩く勇気もなかった。単なる無知でアホな消費者。安んじられてきたのが、あるからとどんどん買ったのが、罪に思えてきて、心で誤った。「ゴメンなさい。もう増やしません。」

そう思うものはすべて処理(現在進行形)。災害時や私が先立った時に残されたものが悩まなくていいようにというのがあるから、断捨離より終活に近いのかも。もちろんまだ10畳一間には収まりきれないけれど、「何かあったらパラダイマシ以外全部捨てて」というのが私の願いです。ちなみに夫の大事な荷物は、以前から菓子折箱一個分。どこまで身軽な野郎なんだ！って、きつとそこに惚れたのかも。

九州の散歩道

フリージャーナリスト 湯浅玲子

「高千穂の夜神楽(よかぐら)」は、宮崎県の高千穂町に伝わる民俗芸能です。毎年11月中旬から2月上旬にかけて、町内のおよそ20の集落で、里ごとに氏神様をお迎えして三十三番の神楽が奉納されます。氏神様をお迎えするのは「神楽宿」と呼ばれる民家や公民館で、奉仕者(ほしやど)と呼ばれる舞手が舞う舞台には、切り絵のような彫り物(えりもの)や注連縄(ぬすな)がはらり巡らされています。ここで夜を徹して舞われるのですが、夕方に始まった神楽は翌日の昼前まで続きます。

この夜神楽は秋の爽りに感謝して、来年の豊稔を祈る神事だとされています。岩戸五番(里によっては六・七番のこともある)は、天照大御神が天岩戸にお隠れになったことを

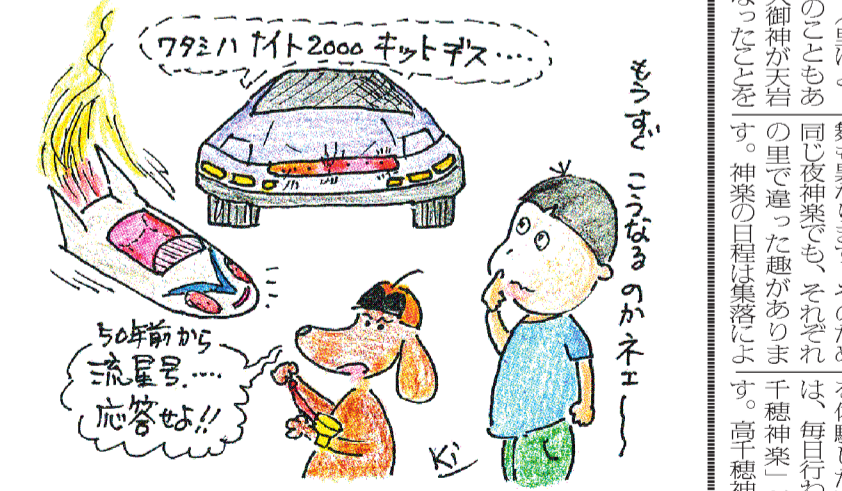


古くからの面をつけた手力雄命の力強い舞



独特の装飾が施された舞台上で登場する細女

ハッと 思いました
全々早いもので、もう師走です。今年も記憶に残る出来事が多い一年でした。時代が平成から令和に移り、一世一代の大嘗祭が執り行われました。ラグビーワールドカップで興奮しましたが、悲しい出来事も多く、数々の自然災害の発生や世界遺産の首里城の全焼、煽り運転と言われる全理解できない事件が多発するなど、予想もしない事ばかりです。
12月1日から、ながら運転が厳罰化されることになりました。これがどれ程の抑止力になるか。とにかく、少くとも、かけた事件事故が無くなる事を期待するばかりです。
秋のモーターショーで、出品されたのは、次世代を示すコンセプトカーの多きはEV系、電気多用したモデル。イ



ンパネに大きな覚を必要とするものが多いなモニター画面が鎮座し、その内、フロントガラス操作はタッチパネル式。か元のモニター画面を見ながらつての武骨な運転をするようになるかもスイッチやダイヤルと違って、ゲームをするように、どこまで進んで行くのか怖ろしいばかりです。
そんな進化の前に、せめて、自分の乗る車を自分でバックさせて駐車できる者に免許を与えて欲しいもの。スマホのなから運転が事故の原因である責任が理解できる者が運転すれば、そうそう事故は起るものじゃありません。
今、未来の時期も時期です、今こそ、今こそ飲酒運転撲滅で新年を迎えましょう。

情報「旬ナビ」